

北海道知事
鈴木 直道 殿

2020年8月31日
北海道社会保障推進協議会
会長 堺 慎
北海道医療労働組合連合会
執行委員長 鈴木 緑

新型コロナウイルス感染拡大の早期収束のための要請書

日頃の道民の生活を守るためのご活躍に心から敬意を表します。

この度、私たち団体は新型コロナウイルスの感染に対峙する道内医療機関の困難さや要求を把握するために、道内医療機関（医科のみ）のアンケート調査を7月から8月にかけて行いました。

多くの医療機関が、コロナ禍の中で、患者数や健診等の減少による収入の減少、感染対策の費用の増加、医療従事者確保の困難等に直面し、地域の医療機能を持続し、秋冬の感染対策に向けて大きな不安を抱えている実態がわかりました。また保健所が医師の判断で必要としたPCR検査を行ってもらえないという問題も残っていることがわかりました。コロナ対応の有無にかかわらず、このままでは医療の継続、経営が立ち行かなくなることから、医療機関の規模を問わず、行政や国へ支援を求める声が多数寄せられています。

調査結果から明らかになった医療機関としての切実な要求をご理解いただき、感染の早期収束を図るための対策、予算を早期に具体化していただきたいと考えます。

子どもからお年寄りまで安心して健康に暮らせる北海道にするために、どうか喫緊の課題としてご検討をお願いします。

要請項目

1. 入手困難、価格が上昇している衛生資材を医療機関が入手しやすくなるよう、道として対策をとってください。
2. 診療報酬の緊急の引き上げと、医療機関の感染対策の費用増や患者減少による前年比で収入が減少した分の補填を国に求めてください。また道としても、緊急に医療機関への財政援助を予算化し、実施してください。
3. 医療従事者と、必要に応じて入院患者のPCR等検査を早急に行ってください。また、医師が新型コロナウイルス感染を疑う場合や感染拡大防止上、必要と判断した場合、PCR検査を遅滞なく行うよう、検査体制を各地域に確保してください。
4. 医療従事者への継続的な手当の支給を道として行い、処遇悪化による離職を防いでください。
5. ゾーニングや人的体制の困難な医療機関も多いため、発熱外来の増設をしてください。
6. 医師・看護師の増員、復職支援の対策を道として行ってください。

以上